

新旧表

旧

新

別添

別添

施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について

本工事は、施工箇所が点在する工事として、以下の方法で積算を行っている。

本工事は、施工箇所が点在する工事として、以下の方法で積算を行っている。

- 間接工事費（共通仮設費及び現場管理費）については、下表の地区ごとに算出した間接工事費を合計した金額としている。
- 共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、地区ごとに算出している。
- 一般管理費等については、工事全体で算出している。

- 間接工事費（共通仮設費及び現場管理費）については、下表の地区ごとに算出した間接工事費を合計した金額としている。
- 共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、地区ごとに算出している。
- 一般管理費等率については、工事全体で算出している。

地区名	施工箇所名
○○地区	施工箇所○
	施工箇所△
△△地区	施工箇所□
	施工箇所☆
	施工箇所◇
□□地区	施工箇所◎
	施工箇所▽

地区名	施工箇所名
○○地区	施工箇所○
	施工箇所△
△△地区	施工箇所□
	施工箇所☆
	施工箇所◇
□□地区	施工箇所◎
	施工箇所▽

お知らせ

平成26年10月1日

施工箇所が点在する工事の積算について

このことについて、下記のとおり取り扱うこととしましたのでお知らせします。

記

1 対象工事

土木建築部が所管する工事（維持管理に係る工事等は含まない。）のうち、施工箇所が複数あり、その点在範囲が直径1km程度以上を越えるもの。

なお、施工箇所には、変更契約で追加する場合も含む。

2 工事箇所の設定方法（別紙1、別紙2参照）

直径1km程度以上を越える点在箇所については、別地区として取り扱い、地区ごとに間接工事費（共通仮設費・現場管理費）を算定する。

3 設計図書での明示

積算条件書に、別添「施工箇所が点在する工事の積算について」を添付することにより、当該積算の対象工事であること及びその積算方法を明示します。

4 適用年月日

平成26年10月1日以降、入札公告及び指名通知する工事から適用する。

【施工箇所が点在する工事の積算方法】

◆現在の積算方法◆

点在する箇所をまとめて、間接工事費(共通仮設費・現場管理費)を算定する。

◆平成26年10月1日からの積算方法◆

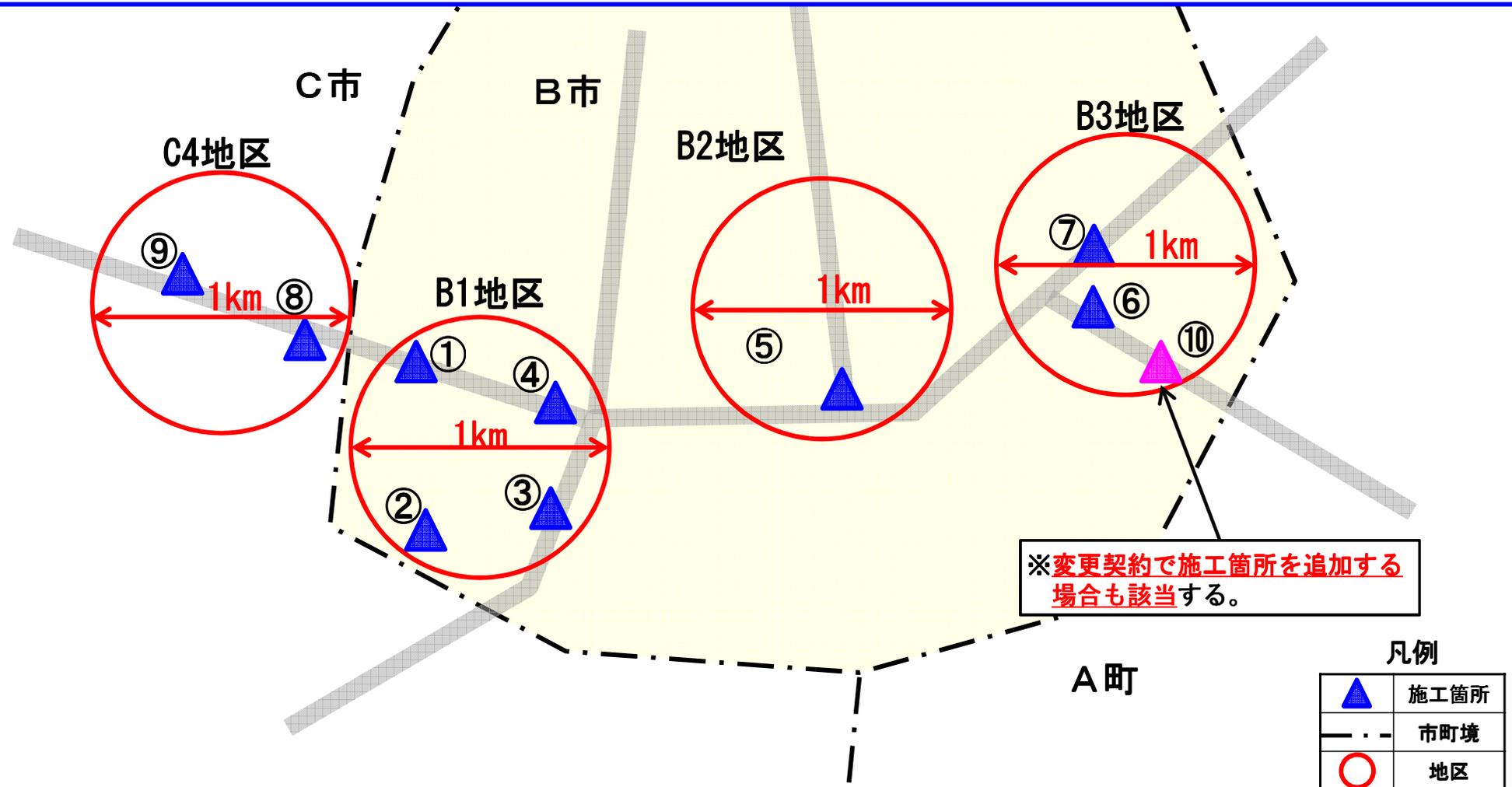
○以下の①②の方法で積算する。

①地形等の状況を勘案して、点在する施工箇所を直径1km程度の円で囲み、地区を設定する。

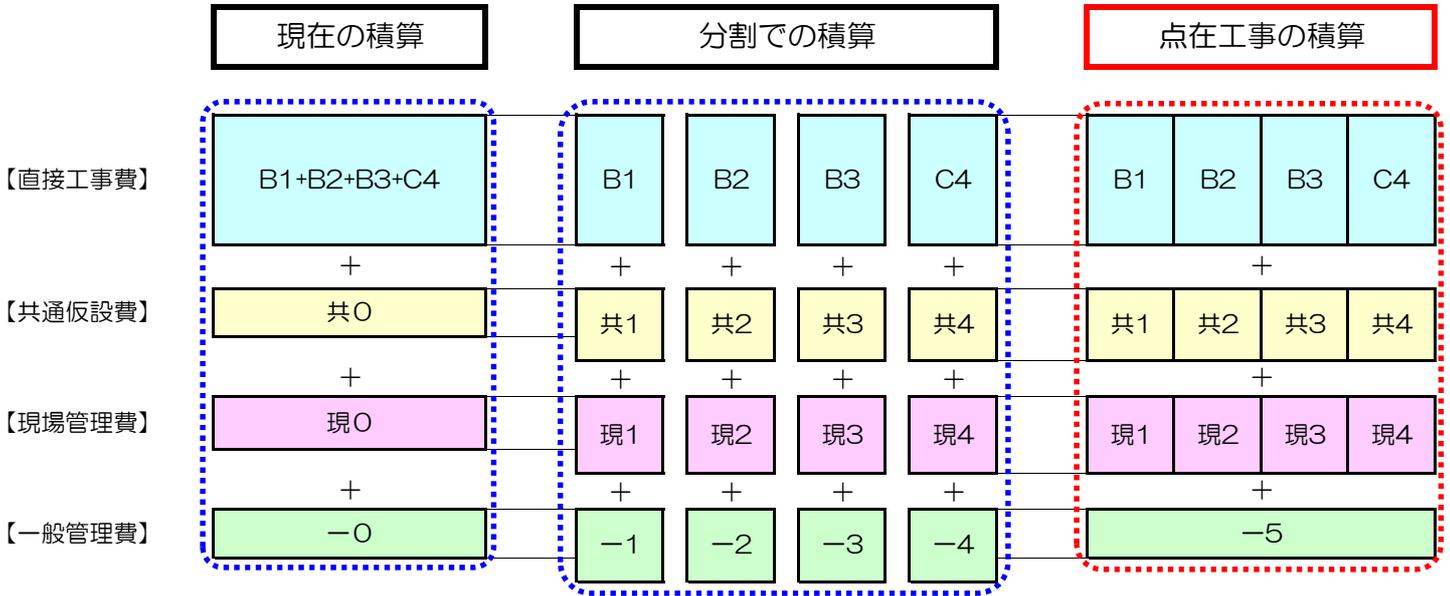
(円の外側に点在する箇所は別地区とする)

②地区ごと(直径1kmの円ごと)に間接工事費(共通仮設費・現場管理費)を算定する。

○変更契約で施工箇所を追加する場合も該当する。



《積算イメージ》



共通仮設費の算定 共0：(B1+B2+B3+C4)を
対象額として算出

共1：B1を対象額として算出
共2：B2を対象額として算出
共3：B3を対象額として算出
共4：C4を対象額として算出

共1+共2+共3+共4

現場管理費の算定 現0：(B1+B2+B3+C4+共0)
を対象額として算出

現1：(B1+共1)を対象額として算出
現2：(B2+共2)を対象額として算出
現3：(B3+共3)を対象額として算出
現4：(C4+共4)を対象額として算出

現1+現2+現3+現4

一般管理費の算定 -0：(B1+B2+B3+C4+共0+現0)を
対象額として算出

-1：(B1+共1+現1)を対象額として算出
-2：(B2+共2+現2)を対象額として算出
-3：(B3+共3+現3)を対象額として算出
-4：(C4+共4+現4)を対象額として算出

-5：(B1+B2+B3+C4+共1+共2+共3+共4
+現1+現2+現3+現4)を対象額として算出)

施工箇所が点在する工事の積算について

本工事は、施工箇所が点在する工事として、以下の方法で積算を行っている。

- 間接工事費（共通仮設費及び現場管理費）については、下表の地区ごとに算出した間接工事費を合計した金額としている。
- 共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、地区ごとに算出している。
- 一般管理費等率については、工事全体で算出している。

地区名	施工箇所名
○○地区	施工箇所○ 施工箇所△
△△地区	施工箇所□ 施工箇所☆ 施工箇所◇
□□地区	施工箇所◎ 施工箇所▽